



## 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月1日

上場会社名 クボテック株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7709 URL <https://www.kubotek.com/>  
代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫  
問合せ先責任者(役職名) 管理部長 (氏名) 記虎政史 (TEL) 06-6443-1815  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日~2024年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,213	168.7	158	—	159	—	155	—
2024年3月期中間期	451	△21.4	△148	—	△151	—	△156	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 115百万円(—%) 2024年3月期中間期 △171百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	11.32	—
2024年3月期中間期	△11.39	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	1,703	551	32.4
2024年3月期	2,353	435	18.5

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 551百万円 2024年3月期 435百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	22.5	△160	—	△165	—	△185	—	△13.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付書類9ページ「中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	13,830,000株	2024年3月期	13,830,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	62,161株	2024年3月期	62,161株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	13,767,839株	2024年3月期中間期	13,767,840株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、個人消費や好調な企業収益に支えられた設備投資が底堅く推移し、景気は緩やかに回復しております。一方で原材料価格高騰が継続し、中国経済の先行き懸念、不安定な国際情勢など依然として下振れリスクが存在しており、不透明な状況が続きました。フラットパネルディスプレイ（FPD）の分野におきましては、中国経済の減速などによって、厳しい事業環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは販売拡大に向けた開発及び営業活動を展開してまいりました。画像処理外観検査装置は、現地立上げ中の大型案件で引き渡しが順調に進み、前年同期と比べ売上は増加しました。また、3Dソリューションシステム製品は、製品の周知に努め新規顧客の開拓に注力しました。売上は円安の影響もあり前年同期と比べやや増加しました。

この結果、当中間連結会計期間の連結業績は、売上高1,213百万円（前年同期比168.7%増）、営業利益158百万円（前年同期は営業損失148百万円）、経常利益159百万円（前年同期は経常損失151百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益は155百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失156百万円）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の売上が伸長し、前年同期を上回りました。この結果、売上高は930百万円（前年同期比383.2%増）、セグメント利益は162百万円（前年同期はセグメント損失138百万円）となりました。

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト等の売上が現地通貨ベースでは減少し、円安の影響で円貨ベースでやや増加しました。この結果、売上高は283百万円（前年同期比9.3%増）、セグメント損失は35百万円（前年同期はセグメント損失23百万円）となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ650百万円減少しました。流動資産は現金及び預金の減少615百万円、売上債権の増加92百万円、棚卸資産の減少86百万円などにより、639百万円減少しました。固定資産はソフトウェアの減少13百万円などにより、10百万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ766百万円減少しました。流動負債は短期借入金の減少202百万円、契約負債の減少510百万円などにより721百万円減少しました。固定負債は長期借入金の減少42百万円などにより、44百万円減少しました。

純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益155百万円の計上、為替換算調整勘定の減少39百万円により、純資産合計が115百万円増加しました。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで6期連続して営業損失を計上し、また2023年3月期において営業キャッシュ・フローがマイナスとなりました。特定の市場・顧客の設備投資及び顧客からの受注動向によって業績の変動が避けられず、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が前連結会計年度末に存在しておりました。当中間連結会計期間においては営業利益158百万円を計上することができましたが、マイナスの営業キャッシュ・フローを計上し業績回復の状況を慎重に見極める必要があり、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループといたしましては、当該状況を解消するため主に日本セグメントの画像処理外観検査装置と、米国セグメントの3Dソリューションシステム製品の販売拡大に取り組んでまいります。また社内に立ち上げた複数のプロジェクトチームにおいて、各事業を横断する戦略的な製品開発を推進してまいります。

画像処理外観検査装置においては新規市場を開拓し、付加価値の高い案件での受注獲得を図ります。また画像処理型検査エンジンなど積極的な製品開発と営業展開によって顧客の拡大に努めてまいります。

3Dソリューションシステムにおいては、自社開発したカーネルを採用した各種ソフトウェア製品の販売拡大と、それに加えて当社製カーネルを搭載することで顧客の持つ製品のパフォーマンスが従来より格段に向上する3Dカーネルの販売を推進します。

さらに新規事業として、オーディオ事業では米国市場において製品を上市し販売態勢を整え、今後収益獲得に貢献できるよう事業展開を進めます。これら施策によってグループの収益力向上と財務体質強化を図り、安定した経営基盤を築いてまいります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間におきまして、2024年5月15日発表の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間の業績予想との間に差異が生じました。詳細につきましては、本日公表しております「2025年3月期 第2四半期(中間期)業績予想と実績との差異に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

なお、不安定な国際情勢等先行きが依然不透明であることから、通期連結業績予想につきましては前回発表を据え置いております。今後の状況を注視し、見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,158,415	543,033
受取手形、売掛金及び契約資産	182,353	277,740
電子記録債権	3,518	797
商品及び製品	13,339	15,423
仕掛品	579,534	474,447
原材料及び貯蔵品	52,876	69,828
その他	87,335	56,895
貸倒引当金	△10,742	△11,114
流動資産合計	2,066,631	1,427,053
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	4	11,868
有形固定資産合計	4	11,868
無形固定資産		
ソフトウェア	255,274	241,915
その他	0	0
無形固定資産合計	255,274	241,915
投資その他の資産		
その他	32,180	23,175
貸倒引当金	△173	△154
投資その他の資産合計	32,007	23,020
固定資産合計	287,286	276,804
資産合計	2,353,918	1,703,858
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,575	132,470
短期借入金	338,656	136,384
未払法人税等	12,696	12,594
契約負債	1,116,073	605,363
賞与引当金	5,260	5,660
その他	139,022	97,033
流動負債合計	1,711,283	989,507
固定負債		
長期借入金	145,428	103,372
契約負債	11,036	12,513
退職給付に係る負債	20,182	20,231
その他	30,685	26,939
固定負債合計	207,333	163,055
負債合計	1,918,616	1,152,562

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△1,393,855	△1,237,944
自己株式	△81,717	△81,717
株主資本合計	476,176	632,087
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△40,874	△80,792
その他の包括利益累計額合計	△40,874	△80,792
純資産合計	435,301	551,295
負債純資産合計	2,353,918	1,703,858

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	451,441	1,213,207
売上原価	282,358	669,764
売上総利益	169,082	543,443
販売費及び一般管理費	317,772	384,526
営業利益又は営業損失(△)	△148,689	158,916
営業外収益		
受取利息	10	66
為替差益	-	1,856
その他	-	242
営業外収益合計	10	2,165
営業外費用		
支払利息	1,842	1,713
為替差損	831	-
その他	315	315
営業外費用合計	2,988	2,029
経常利益又は経常損失(△)	△151,668	159,053
税金等調整前中間純利益 又は税金等調整前中間純損失(△)	△151,668	159,053
法人税等	5,144	3,142
中間純利益又は中間純損失(△)	△156,812	155,911
親会社株主に帰属する中間純利益 又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△156,812	155,911



## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△156,812	155,911
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△14,822	△39,917
その他の包括利益合計	△14,822	△39,917
中間包括利益	△171,635	115,993
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△171,635	115,993
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益 又は税金等調整前中間純損失 (△)	△151,668	159,053
減価償却費	92,581	118,169
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	820	400
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,985	48
受取利息及び受取配当金	△10	△66
支払利息	1,842	1,713
為替差損益 (△は益)	△292	△493
売上債権の増減額 (△は増加)	69,957	△86,142
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△169,872	88,140
仕入債務の増減額 (△は減少)	61,461	32,426
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△16,434	34,802
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,969	-
契約負債の増減額 (△は減少)	118,947	△551,269
その他	△19,991	△53,081
小計	△14,652	△256,276
利息及び配当金の受取額	9	66
利息の支払額	△1,767	△1,747
法人税等の支払額	△7,857	△5,855
営業活動によるキャッシュ・フロー	△24,267	△263,812
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	31,678
有形固定資産の取得による支出	△1,124	△13,328
ソフトウェアの取得による支出	△112,503	△103,343
その他	-	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,628	△84,993
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	250,000	50,000
短期借入金の返済による支出	-	△250,000
長期借入金の返済による支出	△104,328	△44,328
財務活動によるキャッシュ・フロー	145,672	△244,328
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,018	9,430
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	12,794	△583,704
現金及び現金同等物の期首残高	817,543	1,126,737
現金及び現金同等物の中間期末残高	830,337	543,033

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度まで6期連続して営業損失を計上し、また2023年3月期において営業キャッシュ・フローがマイナスとなりました。特定の市場・顧客の設備投資及び顧客からの受注動向によって業績の変動が避けられず、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が前連結会計年度末に存在しております。当中間連結会計期間においては営業利益158百万円を計上することができましたが、マイナスの営業キャッシュ・フローを計上し業績回復の状況を慎重に見極める必要があります、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループといたしましては、当該状況を解消するため主に日本セグメントの画像処理外観検査装置と、米国セグメントの3Dソリューションシステム製品の販売拡大に取り組んでまいります。また社内に立ち上げた複数のプロジェクトチームにおいて、各事業を横断する戦略的な製品開発を推進してまいります。

画像処理外観検査装置においては新規市場を開拓し、付加価値の高い案件での受注獲得を図ります。また画像処理型検査エンジンなど積極的な製品開発と営業展開によって顧客の拡大に努めてまいります。

3Dソリューションシステムにおいては、自社開発したカーネルを採用した各種ソフトウェア製品の販売拡大と、それに加えて当社製カーネルを搭載することで顧客の持つ製品のパフォーマンスが従来より格段に向上する3Dカーネルの販売を推進します。

さらに新規事業として、オーディオ事業では米国市場において製品を上市し販売態勢を整え、今後収益獲得に貢献できるよう事業展開を進めます。これら施策によってグループの収益力向上と財務体質強化を図り、安定した経営基盤を築いてまいります。

ここ数年は業績の大きな変動を出来るだけ抑え、事業構造の改革と安定した収益拡大に取り組んでまいりました。しかしながら客先の設備投資計画の変動や納期の長期化の影響などで、安定した収益力の回復までにはしばらく時間を要するものと考えられます。また資金調達の状況等によっては今後の当社の資金繰りに重要な影響を及ぼす可能性があることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、中間連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を中間連結財務諸表に反映しておりません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## (税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	日本	米国	
売上高			
外部顧客への売上高	192,487	258,954	451,441
セグメント間の内部売上高 又は振替高	119,775	—	119,775
計	312,263	258,954	571,217
セグメント損失(△)	△138,959	△23,852	△162,811

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

損失	金額
報告セグメント計	△162,811
セグメント間取引消去	3,534
内部利益の調整額	△1,573
貸倒引当金の調整額	12,161
中間連結損益計算書の営業損失(△)	△148,689

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	日本	米国	
売上高			
外部顧客への売上高	930,068	283,138	1,213,207
セグメント間の内部売上高 又は振替高	134,885	—	134,885
計	1,064,954	283,138	1,348,092
セグメント利益又は損失(△)	162,043	△35,775	126,267

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	126,267
セグメント間取引消去	3,647
内部利益の調整額	5,468
貸倒引当金の調整額	23,533
中間連結損益計算書の営業利益	158,916

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。